



労福協ロゴ

flash news

福岡県労働者福祉協議会

No. 15-1

2015年6月17日

福岡市博多区店屋町 6-5
小松ビル 2階
(一社)福岡県労働者福祉協議会
TEL 092-263-3141
FAX 092-263-3121

第56回 通常総会開催 / 5/27 福岡市内で!

2015年度事業計画・収支予算 可決・承認される

福岡県労福協は、5月27日(水)、福岡市中央区のアークホテルロイヤル福岡天神において、第56回通常総会を開催しました。総会では、2014年度事業報告・決算報告・監査報告及び2015年度事業計画・収支予算並びに役員選出について審議し、全ての議案が原案通り可決・承認されました。



理事会を代表して挨拶する高島喜信理事長

課・正田美加課長、北九州市産業経済局総務政策部雇用政策課・天本克己課長、福岡県退職者団体連合・正角 隆会長の5名の方から祝辞と激励のご挨拶がありました。また、祝電・メッセージ披露では、中央労福協はじめ8団体から心あたたかい激励メッセージの披露がありました。

議案審議では、深町専務理事から2014年度事業報告及び決算報告、2015年度事業計画及び収支予算、理事選出、監事の交代について提案がありました。また、長野監事から、2014年度の事業監査報告並びに公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告について報告がありました。

総会議長は、提出議案に対する質問・意見を議場に諮ったところ、全ての提出議案が原案通り満場一致で承認・可決されました。

理事選出(案)が承認されたことを受けて10分間の休憩に入り、その間に理事会三役を互選する第3回理事会が開催されました。11時45分に再開し、配付された役員名簿により深町専務理事から、第3回理事会の報告を行い、満場一致で承認され、全ての審議が終了しました。

閉会の挨拶は、島村幸利副理事長より挨拶があり12時00分、第56回通常総会が終了しました。

第56回通常総会は10時、山城正一副理事長の司会で開会しました。総会議長に川崎智喜氏(連合福岡)を選出した後、理事会を代表して高島喜信理事長は「福岡県労福協は、来年で50年を迎えます。この50年に向けて何を私たちが残すのか、次世代にどう繋いでいくのか、これまでの歴史に学んできたことを互いに研鑽し、これから50年に向けてますます新たな公益事業を取り組んでいきたい」と挨拶しました。

来賓挨拶では、厚生労働省福岡労働局・前田芳延局長、福岡県福祉労働部労働局・樋口直樹局長、福岡市経済観光文化局中小企業振興部就労支援

2015年度理事会役員

役職	氏名	推薦・所属団体	
理事長	高島喜信	連合福岡	再任
副理事長	山城正一	九州労働金庫福岡県本部	再任
副理事長	島村幸利	全労済福岡県本部	再任
専務理事	深町裕二	連合福岡	再任
理事	田井孝二	連合福岡	再任
理事	染井和久	九州労働金庫福岡県本部	新任
理事	岩木克明	全労済福岡県本部	再任
理事	宮崎正義	福岡県生協連	再任
理事	中村一輝	北九州総合労働会館	新任
理事	小森幸雄	筑紫・朝倉地域労福協	再任
理事	遠藤禎幸	北九州地域労福協	新任
理事	本田賢治	南筑後地域労福協	再任
理事	寒竹準一	遠賀川地域労福協	再任
理事	伊藤正美	北筑後地域労福協	再任
理事	桑原忠志	福岡地域労福協	再任
理事	安藤正宣	京築・田川地域労福協	再任
監事	金光千春	連合福岡	再任
監事	中村隆一	九州労働金庫福岡県本部	新任

※第56回通常総会の終結をもって、木村洋三理事、佐伯衛理事、中間徹理事、長野豊喜監事の4名が退任されました。

中央労福協 全国研究集会開催！！

愛知県

春日井市内で6/4～5

テーマ『持続可能な社会と若者の未来』

中央労福協主催の「2015年度 全国研究集会」が、6月4日(木)～5日(金)、愛知県春日井市内の「ホテルプラザ勝川」で開催されました。福岡県労福協から3名が参加し、北は北海道から南は沖縄まで、総勢264名が参加しました。

開会冒頭、主催者を代表して、山本副会長から今年度の研究集会の開催趣旨について挨拶があり、歓迎挨拶として、中部労福協の高田会長、来賓挨拶では愛知県から森岡副知事から挨拶がありました。

第一日目は、講演Ⅰとして「アベノミクスからの転換と持続可能な社会への展望」と題して、立命館大学国際関係学部教授の高橋伸彰氏から、約90分間の講演がありました。続いて講演Ⅱとして、「地域社会から子ども・若者の貧困を考える」と題して、NPO法人さいたまユースサポートネット代表 青砥 恭(あおと やすし)氏から、現実の若者の実態など、実体験をもとに、現在取り組んでいる事業について講演があり、一日目を終了しました。

第二日目は、9時から講演Ⅲとして、「貧困ビジネスと化した奨学金 苦悩する若者たち」をテーマに中京大学国際教養学部教授の大内裕和氏から講演がありました。大内教授は「奨学金問題対策全国会議 共同代表」を務め、ビジネス化した奨学金制度への問題・課題について、深刻化する労働市場の劣化に加え、奨学金という名の多額の借金を抱えていれば、結婚・出産・子育ては容易ではなく、少子化・人口減少を更に加速し社会の存続が問われかねないと、警鐘を鳴らし改善に向けて取り組まれています。

休憩後、パネルディスカッションでは、「深刻化する雇用劣化と奨学金問題の改善に向けて」をテーマに、パネリストとして講演をいただいた大内裕和教授、連合・非正規労働センター総局長村上陽子氏、高校教師の富崎豊和氏、コーディネーターに中央労福協の山本幸司副会長が務め行われました。

冒頭山本コーディネーターから、テーマに対する問題提起があり、それぞれパネリストから報告を受け、現状の認識・課題についてディスカッションが行われ、二日間の日程を終わりました。

閉会の挨拶では、黒川 悟副会長から、二日間の研究集会のまとめを中心に挨拶があり、12時に終了しました。



主催者を代表して挨拶する山本幸司副会長



高橋伸彰教授の講演



青砥 恭代表の講演

開催趣旨・・・本研究集会では「持続可能な社会」を実現するために、経済政策、若者の未来について考えるものです。

政府が進める経済的な「成長路線」は、人びとの生活を豊かにし、「持続可能な社会」を可能とするものかを考察します。

現在の子ども、若者の実態から貧困問題の克服すべき課題、必要な政策、さらには「奨学金」問題を焦点に、教育費用、奨学金制度、雇用等の視点で「若者の未来」について考察します。